

シラチャ校だより

泰日協会学校
シラチャ校
2018. 5. 4



一学期始業にあたって

泰日協会学校シラチャ校 校長 久光靖男

タイのお正月「ソンクラン」が過ぎ、暑季も本番を迎えています。花を咲かせた校庭の木々が一段と成長しているのを感じる今日この頃です。

泰日協会学校シラチャ校10周年にあたる記念の年、平成30年度がスタートしました。21日(土)に行われた入学式では小学部1年生73名、中学部19名が入学し、全校児童生徒は小学部が386名、中学部が70名の456名。昨年より13名増加したところです。

職員も新たに16名を迎え、総教員職員56名で学校を運営して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

学校の校訓は「明るく、なかよく、たくましく」です。校歌に出てくる歌詞との整合性を考え、泰日協会として校訓を設定したところです。広い心では国際理解を進める学校教育目標に取り入れています。

学校教育目標を下記のようにいたします。

創意工夫し、進んで学ぶ児童生徒	(知育)
自分と友達の良さに気づく思いやりのある児童生徒	(徳育)
心と体を鍛え、命を大切に作る児童生徒	(体育)
広い心で考える国際性豊かな児童生徒	(国際理解)

知徳体のバランスのとれた人格、さらに国際性豊かな人間性の育成をめざして参ります。

この目標を踏まえ、今年度のスローガンを「Let's try it」(さあやってみよう)としました。一年中暑いタイでは、家の中にいることが多く、消極的になりがちです。いつでもできると考え、とりあえずやらない選択をくりかえすといつの間にか苦手意識に変わってしまうことがあります。学びの機会をチャンスと捉え、自分で選ぶ生き方を学んでほしいと願っています。また苦手なものがある場合には、漠然と取り組むのではなく、やれそうな具体的な目標を定め、実践してみるようにしたいと思います。「Let's try」ではなく、「Let's try it」としたのは、ねらいをしっかりと自覚し、意識して実践してほしいという事からです。学級毎に学年の実態に応じて取り組んで参ります。

また昨年度の学校評価委員会でのご意見から、学校評価については具体的な数字でその達成度を示してほしいという要望が出されました。どの姿を切り口として示すかを検討の上、お示したいと思います。

今年度も保護者の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。